



## 西山ウォークを終えて

教頭 澤村 力也

10月25日（水）前期課程の西山ウォークを実施しました。

出発式では、校長先生から「秋の自然を存分に感じること」「ファミリーで助け合いながら、ウォークを楽しむこと」等の話があり、その後、各班の班長を先頭に児童が整然と並んで出発しました。

全員を送り出した後、私は見多気神社の近くに移動し、交差点での見守りと通過した班のチェック、じゃんけんのイベントを担当しました。通過していく子供たちはみな笑顔で楽しんでいます。班長を先頭にどんぐりころころの歌をみんなで歌いながら歩いてくる班や、疲れた低学年の子供たちを急かすことなく優しく見守る班等、子供たちが思いやりの心をもって互いに温かく関わりながら歩いてくのをうれしく思いました。

西山ウォークは夏休みから準備し、お世話になる地域の方へのご挨拶や打合せを行い、クイズ等の準備も進めてきました。私にはその一つ一つが新鮮でした。まず、先生方が地域を知り、地域のみなさんと関わること。そこで感じた地域のよさが伝わるように出合いを演出すること。そのことが子供たちの豊かな体験につながっていると感じました。

また、5月に行った5年生のりんごの摘果作業の時に、子供たちが嬉しそうに国吉の昔話をしてくれました。龍の伝説や木彫りの狛犬の話等、次から次へと流ちょうに話す子供たちの姿に、地域愛の強さを感じました。

地域の中で楽しみながら学ぶことで、子供たちは主体的になり、豊かな学びを得ていくのだと思います。地域の魅力を語る中で子供たちはさらに学びを確かなものにして国吉プライドも高まっていくのだと思います。

また、地域の方の協力もこの大切な体験活動を支えてくださっていると感じました。何度も巡回してくださった警察の方、様子を見に出てくださり温かい声をかけてくださった地域のみなさん。トイレ等を貸してくださった施設のみなさん。安全・安心に地域を巡ることができる環境に感謝の気持ちでいっぱいです。この伝統的な行事を今後も充実した活動にしていきたいと思います。

